

《進路公開》

【授業記録】進路を公開し合った授業

1993年12月18日（土）第3校時

主題「私の進路、私の人生、私の生き方」

板野中学校3年A組

授業者 森口 健司

T : 黒板を見てください。「全員の力で高校全入を思いを持って仲間にせまれる集団」。みんながそれぞれの進路に向かって、みんな自身の思いや願いや夢を持って、進路を今、みんなが決定しようとしています。でも、そこには大きな峠がある。越えなければいけない峠がある。その峠をどんなことがあっても越える。そして、越えた瞬間そこに開けた道をみんな自身が、みんな自身の足でしっかり歩いていく。そういう15才の春にしたいと思う。いいですか。15の春、15才になった春。来年の4月になって見る桜は違うぞ。今まで見てきた桜と全く違う思いで見る桜。みんなはどんな思いでその桜を見るのか。そして、どういうふうにみんながみんな自身の歩みを始めていくか。2学期の三者面談が昨日で一応終わったわけですが、面談の中で感じたこと、思ったこと、そして私はこういう道を進んでいきたい。僕はこの道をこの高校を、そして、こういう生き方を求めているという思いを語り合いたいと思います。みんなの心の中には希望する高校にいけるんだろうか。どうなんだろう。いろんな不安もあるだろう。でも、3Aの一人として、どんなことがあってもその峠を越えるんだという思いを持って、これからの、今日からの一日一日、また心新たに頑張っていく。そういう生活にしていく。そのためにみんなで夢を語り合う。それぞれの進路を語り合う。そして、それを語るということは、その道をどんなことがあっても歩き続けていく自分を確かめることだと思う。人間には決意がいる。確かな決意がなければ確かな歩みになっていかない。まだまだゆれている部分がある。その揺れる思いを語る。そして、その中で確かなものをみつけていく。そういう時間にしたいと思います。最初全員から思いを出してもらって、その出た意見についていろいろと思いを重ねていきたいと思います。漠然としたもの、確かなもの、まだまだ揺れるもの、いや実はこんな思いをもっているんだという意見、いろいろあるだろうけど、それを出していったほしいと思います。最初全員にもらって、後でいろいろまた、深めていきたいと思います。最初、すごい緊張感あるけど、それをみんなが止めどなく意見が出てくる雰囲気に変えていきたいと思います。

S(男)先生どんなことを話したらいいんですか。

T : どんな気持ちで高校へ行こうとしているか。そして、自分がその高校へ行って何をしようとしているか。また何のために高校へ行こうとしているのか。高校で何をするか。そして、その高校を卒業した後、どう生きていきたいのか。そういったものを出していこう。N君、どうですか。

S(男)まだ、はっきりと決めてないけど……。

T : この授業をしようと思ったのは、N君の生活ノートを読んでからです。あの生活ノートに綴られていた思いはN君だけの思いではなくて、みんなに共通する思いです。みんなの思いを出し合って、一人一人の生き方を確かなものにしていくことができたらしと思うんです。

S(男)僕は板野高校に行こうと決めとったのに、昨日、親と先生に三者面談で「板野高校より鳴

門工業高校はどうか」と言われて、最初工業高校は絶対いかんと思うとったけど、前より何か、工業高校もいいなあと心が揺れてきて、段々どうしようかなあと揺れてきて、どうしようかいなあって悩んできて、昨日、ぐっすり寝れたけど……。 (全員：笑い) とにかく考えよって、板野高校だったら僕、大学いく気ないけん、板野高校いかなしやあないと思うとったし、まあ毎日楽しいにサッカーできたらいいわと思うとったけど、それもやっぱり、将来のこと考えたら、なんか、自分自身に甘え取るような気がして、それやったら、鳴門工業高校へ行って、鳴門工業高校もサッカーが弱いけど、鳴門の方がええかなあって思うようになってきたんです。先生は昨日、サッカーはおまけじゃみたいに言よったけど、僕はそんなサッカーはおまけとか思っていないけん、卒業して、なんか将来のこと考えたら鳴門工業高校がいいんだろうけど、何かそれで何かごっつい悩んどって……。まだ、決めてない。決めれんわ。うじうじしとる状態です。

T₄：まだ変わるかもわからんからなあ。それ以外の進路を考えるようになるかもわかんなあ。自分にとって何が一番いいか、自分はどんな生き方がしたいのか。そういうことをしっかりと考えて決めようや。ただ漠然と、みんながいくからそこにいくのではなくて。本当にそこへいって何かをしたい自分をつくろうや。その学校で何をしようとしているのか。どういう頑張りをしていこうとしているのか。そして、みんながしっかりとした目的を持って、それぞれの道に進んでいくようにしよう。みんなの思い、N君につなげていこう。

S(男)僕は鳴門高校へ行こうとだいたい決めていて、どちらかというと勉強より陸上をするために鳴門高校に行こうとしているから、板野高校とかも始めから考えてなかった、陸上で強い学校を自分の目標にしてきたから、自分なりに鳴門高校には絶対いくという意志があります。せっかく中学校で一生懸命陸上をやってきて、四国大会や全国大会も出れたので今まで以上に頑張りたいと思います。けど、まだ高校にはいっぱい速い人がいるし、中学生と一緒にやってきた人の中にも、勝てなかった人もいるので、高校生になったら、今まで勝てなかった人を負かしてみたいと思うとったし、自分が好きで陸上やってきたので、途中で陸上をやめたくないで、自分の限界まで最後までやってみようと思って、高校で陸上することに決めました。また、強い人がいるところで、競い合えたらもっともっと伸びると思います。それで僕は鳴門高校に決めました。だけど、勉強とかももっと頑張らなあかんと思うので、これからの一日一日は、勉強の方も今まで以上に頑張りたいと思います。

T₅：はい、続けてください。クラス全員に発言を保証したいと思います。

S(男)僕もE君と同じで、中学校でずっと陸上を続けてきたので、高校へ行ってもやめる気はありません。でも、僕は陸上を生活の第一にして生活していきたいという感じではなくて、陸上もやりながら他の職業について、一緒にやっていくというような考えです。それで、高校に進学して将来、中学校の教師になりたいけど、そのために大学まで行って、一生懸命勉強したいと思っています。

T₆：自分の進路について、不安でたまらないという人もいだろう。また、いけるのだろうかという人もいだろう。でも、その思いをきっちりと語っていき、そして、そん中で自分というものを持てるようにしたい。今の熱い思いを語っていくことが、絶対にみんなをたくましくしていくし、さまざまな困難を克服していく力になる。しっかりとした自分をつくるために、しっかりと語れる自分にしていこう。みんなの思いをつないでください。

S(男)僕はE君やN君が、陸上やサッカーをやるといふのを知ってて、二人ともすごく真剣なと

ころがあつて、いつもいいなあと思っていました。俺もスポーツは水泳とかしよるけど、やっぱり自分の水泳の取り組みというのは、ただの運動の形で、真剣なものではなくて、そんなトップを目指すというものではないんです。俺は阿波高校へ行きたいんやけど、板野高校はやっぱり近いし、板野高校に行った方がいいかなあという気持ちがあるけど、自分を楽な方に向けるより、自分には厳しいことかも知れんけど、これだけ頑張っているんだから、阿波高校に行って大学へ行きたいし、森口先生も大学へ進学したいんだったら精一杯頑張れって言うてくれるし、そのために受験勉強もしているし、親も了解しているし、だから自分にできることは精一杯やって高校へ進んでいきたいと思います。

S(男)僕は、今、鳴門工業高校に行きたくて、それで情報技術科を希望しているけど、その内容はすごく難しいと、先生も言っていたけど、まだ入ってないので分からないので、よっぽど点が高い人でなかったらなかなかついていけかもしれないけど、僕はまだ入りたいという気持ちがあるから、絶対に頑張ってみようと思います。でもまだ心のどこかには、板野高校とどっちにしようかと、今、すごく揺れている心もあります。でも早くきっぱりと決めて心を通すっきりとしたいと思います。

T：はい、つなげていこう。

S(女)私は高校に行ったら、中学校で続けてきたテニスを中心に頑張りたいと思ってきたけど、常にトップを目指せるようなチームでなかったし、団体戦でも個人戦でも強い学校には、勝てなかったけど、私はそれでも高校に行ったらテニスしたいなって思っていたけど今とても迷っています。テニスには硬式とか軟式とかがあるんだけど、テニスをやめて他にやりたいことを見つけようと思ったりもします。それで進学したい高校が今もまだ決まってないけど、3年生なって今までいきたい高校が二つあって、それは板野高校と徳島商業高校で、私はどちらにするか悩んでいるんだけど、私の気持ちを整理してみたら、結局、徳島商業高校にいきたい方が大きいように思うし、文化祭のときに徳島商業に進学しているA先輩に会っている話を聞いたりしていたら、心から徳島商業へ行きたいと思うようになってきました。また、学習会に徳島商業の先生がきてくれることがあって、そのときに徳島商業の先生から話を聞かせてもらって、本当に自分の進学したい高校は徳島商業だと思ったし、だから、徳島商業に進学して大学はいくつもりないので、就職するためにいろんな資格をとって、どんな職業でも就職できるように、いっぱい検定とか受けて資格を取りたいと思っています。それから、その先輩が徳島商業にいるし、他にも私はあこがれとる先輩や板中から卒業した人にいっぱいおるけど、あこがれとるだけだったらあかんと思うので、その先輩みたいになれるように、いろんなことに頑張って、その中で同和問題学習もA先輩と一緒に徳商に進学していくみんなと頑張っていきたいので、みんなも勉強を頑張っているし、徳商と一緒に進学しようという友だちもいっぱいいるし、最近、そのことで電話し合って頑張ろうと励まし合ったりしているので、もし私が徳島商業を受けないことになったら、その友だちを裏切ることになるので、私は徳島商業に行って、本当にやりたいことを見つけないと思っています。

T：。：思いを重ねていこう。揺れている人もいるだろう。漠然とした人もいるだろう。みんなの思いを聞きながら、自分の思いをきっちり自分なりに整理していく。そういう意味においても、じっくりと思いを語ってください。

S(女)私はこの間、三者面談でいろいろ話をしてくれたけど、今すごく高校で悩んでいるけど、能力的にも一応考えてみたら、こっちの高校の方がいいかなって思ったりするけど、このま

まやったらこっちがいいかなって思ったり、本当に迷うことがあって……。私の進学したいと思っている高校は、板野高校と徳島東工業なんだけど、東工業は就職の方がいいかなって思うし、板野高校へいってもそれ以上のことは全然考えてなくて、それでどうしようかとずっと考えていて、やっぱり早くどちらにするかを決めて勉強に取り組んでいきたいと思っています。やっぱり後のことも考えなあかんし、みんなも同じことで精一杯かもしれんけど、もし他の別の学校にいった以上は、その道のことを本当に考えなあかんから、早く決めて頑張ろうと思います。

T₉：いろいろ思う部分あるだろう。みんなの思いを大切にしっかりと歩いていく。そういう自分にしていく。今、まさしく闘いをしようと思う。頑張ろう。堂々たる自分をつくっていくために、一緒にみんなで頑張っていこう。つなげてください。

S(女)私も二つの高校でゆれていて、一つは決まったら受験をしなくて推薦でいくようになります。もう一つは、ぎりぎりのラインの方で迷っているんだけど、やっぱりいきたいのは徳島市の総合選抜の方です。高校は入るだけでなく、出口を考えなければいけないということを考えているんだけど、私は大学に進学して将来、医薬品関係の仕事につきたいと思っているので、大学進学はもっともっと大変なものになっていくと思います。高校に進学しても勉強せなあかんので、何って言ったらいいか分からないけど、やっぱり、目標とする職業につけるようにしたいと思う。私、小学校のときに、すごく悪い方で、勉強できない方でした。算数とか社会とか、全然分からない方だったけど、みんなも勉強することは高校で違うと思うけど、1年生からまじめにしていったら、中学校で遅れた分は、絶対に取り返せると思うから、私はやっぱり勉強できないと思い込んでやっても駄目だと、とらわれている子もいると思うけど、勉強はやるかやらないかで違ってくるだけだと思います。だから、みんなそれぞれの高校へ進学して別れていくけど、どここの高校へ行ったとしても、やったらやった分だけ伸びると思うし、今から大学もいけるとか、いけないとか言ってあきらめるのではなく、自分を信じて頑張ることがとても大切だと思います。

T₁₀：今、高校の入試制度が変わっていきようとしています。その一番がやる気の問題なんです。やる気のある人間を高校も社会も必要としています。たとえば、その学校に何のために進学したのか。何を求めて進学したのか。どういう夢をえがいて進学してきたのか。どういう目的をもって進学してきたのか。そんな生き方が最も問われているんです。なんとなく高校へきた進学した生徒が一番困るんです。高校が最も重視するのがやる気なんです。中学校の成績もやる気をなくしたらがたっと落ちるし、やる気をもったらすごく伸びていく。環境によってもものすごく大きく変わってくる。さっき、鳴門工業の話をN君がしたけど、鳴門工業に進学した先輩たちを見ても、そのことが言えるんです。悠々と合格できると言われた子でかなり成績上位でいけると思った生徒が高校へ行って油断して意欲なくして、成績下位で苦労して苦労した生徒もいる。逆にこの点数で合格できるだろうかと思った生徒が、「先生、僕頑張るから……。」って言って実験や実習を頑張り続けて、すごい優秀な成績で鳴門工業を卒業して、徳島を代表する企業に就職した生徒もいるんです。意欲なんです。そこで何をしようかという意欲なんです。そういう姿勢なんです。そういう意味で本当にみんなにそういうものを持ってもらいたいと思う。頑張ってもらいたいと思う。はい、続けていこう。

S(女)私は小学校のときからませとって先走ってって、何才までに婚約をして、何才に結婚してとか、そんなことを考えとったんやけど、今はちょっと変わってきて、ずっと阿波高校に行

きたかったけど、三者面談で板野高校と阿波高校の両方の話を聞いて、今どちらの学校にしようか、もうごっつい迷うたけど、大切な進路のことだから頑張って考えていきたいです。それと大学にいきたいんだけど、今も英語がずっと好きだったので、英語と一生関わっていきたいので、英語を中心に勉強していく大学にいて、世界を飛び回る仕事につきたいです。

T₁₁：その夢が大事ですね。Tさんの思いにつないでください。

S(女)私はずっと1年生の頃から板野高校にいくと決めていたし、3年生になってからいろいろ迷いだして、それで最近、2学期ぐらいから名西高校の音楽科にいきたいと思い出しました。今までは、小学校の頃はピアノの練習が嫌いだったし、中学生に入学してから2年生ぐらいまでは嫌いで、3年生になって先生が変わってから、ピアノの練習が好きになったんだけど、その先生からは板野高校へ行ってからでも遅くないって言われたんだけど、みんなはほとんど小学校の低学年からピアノやっとなので、その分私はみんなよりすごく遅れている面があって、名西高校に行きたかったけど、名西高校は成績の面でもかなり厳しいし、ピアノの実力でも難しい面があるので名西高校の音楽家は、夢で終わるかもしれないけど、今のピアノが好きな気持ちを大切に持ち続けて、板野高校に行ってから将来大好きなピアノを生かせるように勉強とピアノの両方を頑張りたいと思います。

T₁₂：いろんな壁にぶつかっている人もいますよ。でもその中で絶対に自分をあきらめず歩き続けていく。自分の夢を絶対に持ち続けていく。頑張りを続けていくというのがみんなに問われていくと思う。進路の問題は高校で終わりでないんですよ。高校は人生の大いなる夢に向かって進んでいくプロセスですよ。過程ですよ。高校でみな一生終わるわけじゃない。高校で3年間過ごして、その後でしょう。その後、どうあるか。どう生きるかですよ。そういった意味で高校のあり方について本当に考えたい。何のためにこの高校いってことをじっくりと持って、じっくりと考えて、そして、その後の人生をその後の生き方をみんなで求めていきたいと思う。みんなの思いや願い、そして生き方をつないでいこう。みんなで腹の底にあるものを吐き出していこう。

S(男)僕は鳴門高校へ行って、弓道部に入りたいと思います。そして、将来鳴門に住んで幸せに暮らしたいです。

T₁₃：B君、頑張れよ。B君に続いてください。

S(男)僕も鳴門高校に行つて弓道部に入りたいです。僕は板野高校よりみんなのいないところにいきたいので、新しい友だちとかをいっぱいつくりたいから鳴門高校に決めました。

S(女)私も板野高校にするか、阿波高校にするかで悩んでいて、三者面談のときにお父さんに、板野中学校を卒業している先輩がいた方がいいと思って、それで悩んだけど一応高校のときは勉強中心にやっていきたいです。大学は県内の方にいていろんなことを勉強したいと思っているので、これから勉強して自分の道を歩いていきたいと思います。

T₁₄：自分の進路、しっかりと考えてくださいね。みんなの進路を決めるのは、みんな自身ですよ。みんなの周りにいる多くの人たちから、いろんな話を聞いてみんな自身が進路を決定する。みんな自身が歩んでいく道であるんだから、あくまでもみんな自身がその進路は決定するんです。みんなはみんな自身の思いの中でどのような選択をしようとしているのか、どのような道を歩んでいこうとしているのか。その思いを語り合いましょう。

S(女)いつも高校に関する質問をしていて、板野高校と徳島商業で迷っていたけど、Fさんとも話して、それで徳島商業に行きたいなあって、それで私が徳島商業にいかうと思った理

由はあるようなないような感じだけど、今はいきたいし3年の最初は受験というものも、あんまり深刻に考えなくて、何とかなると思っていたけど、今は高校のことで頭がいっぱいで、Mさんともあきらめようかなって話したこともあったけど、自分のこれからのことを真剣に考えて頑張って高校を決めたいです。

T₁₅：しっかりと頑張って決めていこうな。

S(女)私はI君と同じで将来できれば学校の先生になりたいと思っているので、高校を卒業したら大学の教育学部に進学したいと思っています。三者面談で先生が言ってくれたけど、板野高校から多くの先輩が教育学部について頑張っていると聞かされて、私も板野高校へ行って自分の目標が実現できるように頑張りたいと思います。

S(女)私もTさんとかIさんが言ようように、私も学校の先生になりたいんだけど、高校に入ったら私は、今は親からお小遣いもらっているけど、バイトして自分のお金をためたいし、大学とかいったらお金がかかるけど、自分のお金でちょっとでもいけるようにしたいと思っています。

T₁₆：意志のあるところに道はできる。「いし」ってゆうんは石ころと違うぞ。みんなの思いや願いです。志であり、意欲なんです。意志のあるところに道はできる。その思いを燃やし続けていく。その中で今日という日、今という時間をどう頑張るかです。みんなは15年生きてきた。生い立ちにかかわって、みんな自身の15年の人生にかかわって、その人生を踏まえてこれからどう歩こうとしているか。どう生きようとしているのか。自分自身の思いをしっかりとりとえて、頑張っていく。こうありたい、こう生きたいという自分をもってもらいたいと思う。実は一昨日の夜、3才になる下の娘が喘息から肺炎をおこして、いつもよく喋るんですけど……、その日はぐったりして全く喋らない。それで慌てて中央病院に運んだんです。医者が「よく辛抱しましたね」とつぶやいた。そのときに喘息の発作の恐さについて話してくれたんですけど……。今まで何度か、病院につれていったことがあるんですけど、病院で吸入したら、その吸入の器械で遊ぶんですよ。小児科っていうのは、アンパンマンとかドラエもんとかの人形がいっぱい置いてあるんですけど、機嫌のいいときは自分が吸入せんとアンパンマンの人形に吸入させたりする。(S：笑い)そんな姿ばかり見ているから、その夜は本当に心配したんです。結局その夜は入院するようになって、朝、起きたら6人の大部屋ですよ。大部屋には1才や2才の子がおりますからね、その中で一番お姉ちゃんということで喜んで喜んでするんですよ。どっかホテルか旅館にでも来たつもりでね。喜んでっただす。私はその姿を見ていたから、もう心配ないと安心して学校へその日はきたんですけど……。それが面談終わった頃に電話があって、「すぐ病院にきてほしい」と言うんです。様態が急変して個室に入って、今、酸素吸入をしているという。もう、愕然としたんです。目の前が真っ白になった。病院へ向かう道のり、名田橋の上で車が動かないんです。名田橋を渡りながら、いろんなことを思ったんです。このままあの子が死んでもうたら、あの子の一生って何だったんだろう。たった3年しか生きれなかった一生って、何だったんだろうなってことを思ったんです。いろんなことが頭に浮かんでくる。葬式のことやいろいろ思う。真剣にそんなことを考えてしまうんです。それでそのときしみじみと考えたんです。私は何のために仕事しているんだろうか。何のためにこんなに頑張っているんだろうか。そして、何のために生きているんだろうか。そんなことを思いついていくんです。私には二人の娘がいるんですけど、その娘のたった一つしかない生命、その一つの生命を守りきれないで支え

切れないで、俺は何をしているんだろうかと思った。人間の生命というのは本当に重い。そして、かけがえがない。みんなの生命というのは本当に重い。みんなが15年生きてきた中で大変な場面でみんなは、みんなの母親や周りの家族に支えられて、今生命長らえて、今本当に五体満足で健康に、今過ごしている。みんなはその生命を今どう生かしていくのか。どう生きていくのか。そのことをじっくりと思え……。姉ちゃんに支えられて……。父ちゃんに支えられて……。母ちゃんに支えられて……。多くの人に支えられて生きていること、多くの仲間を支えられていること、そして、その生命をどう燃やしていくか。そして、何のために高校に行くか。何のために一生を過ごしていくのか。生きていくかを考えていきたい。そういう、高校の選択をしたいと思う。進路について、思うことをつなげていこう。語ることを通して確かな自分が生まれていく、頑張れ。

S(男)僕は小学校のときから柔道をしてきて、そのときから徳島商業に入れたらうれしいなあと思っていたんです。徳島商業はずっと柔道も強いし、僕が尊敬している先輩もいるし、そして僕たちの学年も強い選手がいっぱい集まってくるだろうし、僕はそんな先輩や新しい仲間と頑張って練習したいと思っています。僕はもし徳島商業に行くことができれば勉強も頑張って、新しい仲間と中学のとき実現できなかった全国大会出場という夢を実現したいと思っています。

T₁₇: つなげてください。

S(女)私もMさんと同じで2年生の頃から阿波高校へいこうと思うとったけど、昨日の三者面談で先生にいろいろ資料とか見せてもらったら、やっぱり阿波高校より板野高校の方が自分自身を伸ばせると思いだして、板野高校へ進学するか阿波高校に進学するかで、今すごく悩んでいます。

T₁₈: しっかり悩んで、しっかりした目的をつかむ。自分の進路、自分でしっかりと考えて決めるよう。

S(男)もう僕、板野高校やめた。(S: 笑い) 鳴門工業にいて工業化学に進んで、それで猛烈に勉強頑張って大塚製薬へ就職したい。それでサッカーと勉強を両立して、今ちょっと鳴門工業はサッカー弱いけど、板野中学校のサッカー部から行く子もおるけん、一緒に頑張って優勝させる。もうそれで鳴門工業に決めた。それとM君の意見が聞きたい。

S(男)僕は9年間サッカーをやってきて、サッカーはとても好きです。これからも高校では必ずサッカーをしていきます。

T₁₉: 不安な壁におつかって揺れている人、みんなが高校全入を目指して頑張ろう。みんながそれぞれの高校に進学して、ばらばらになるかもわからん。でも、その中で僕は、私は、この学校へ行く。その学校で頑張る。そんな誇りと自信を持ってみんなが行きたい学校を最高の学校にしていこう。板野高校へ行く人は板野高校を最高の学校にしよう。鳴門工業へ行く人は鳴門工業を最高の学校にしよう。阿北高校に行く人は阿北高校を最高の学校にしよう。徳島商業へ行く人は徳島商業を最高の学校にしよう。鳴門高校に行く人は鳴門高校を最高の学校にしよう。阿波高校へ行く人は阿波高校を最高の学校にしよう。それぞれみんなが進んだ学校をみんなにとって最高の学校にしよう。みんなが本当に頑張れたらみんなにとってその学校はみんなにとって最高の学校ですよ。漠然とみんながいくから、世間がこう言うから、そこへ行くのではない。こんな世の中、甘くないですよ。そこで、頑張ろうとする自分、頑張り抜こうとする自分がなかったら道はできない。みんな自身が歩くんだ。頑張れ。

S(女)私は5教科の勉強より家庭科を重視して阿北高校の生活経営科を目指しています。周りから見たらやっぱり得点とかもあるかもしれんけど私としては、高校入試はやっぱり家庭科を重視している学科に進んで、将来阿北高校で学んだことをこれからの人生で生かしていきたいし、阿北高校でも精一杯頑張ろうと思います。

T₂₀:頑張れ。自分の人生、自分自身で最高のものにしていこう。

S(女)私は、実は中1のときは板野高校にいきたかったけど、3年になって2番目の姉ちゃんが働きながら勉強している城東高校の北島分校へ行こう決めました。私も姉ちゃんみたいに頑張って働きながら勉強したいと思ったので、普通の高校と違って働きながら勉強することは、しんどいと思うけど私は頑張りたいと思います。姉ちゃんや姉ちゃんの友だちとか頑張っているから、私も頑張れると思うので、姉ちゃんの言っているところに決めました。高校は普通の高校と違って1年間多いけど頑張りたいと思います。姉ちゃんの学年の人の中にも、1年間終わってやめた子も何人かいると聞いたけど、私はやめないで4年間頑張りたいと思います。

S(男)僕は徳島商業にいつて、それで大塚製薬に入ってお金をためて飛行機を買って、世界中の空を飛び回りたいです。

T₂₁:頑張れよ。そのとき、乗してくれよ。(S:笑い)

S(男)僕は今ごっつい悩んだ。みんなが言うような問題でなしに、今行きたい高校に絶対行けない点数だから、ごっつい今後悔しよるんよ。1学期からもっと勉強しとったらよかったなあって、今思うとんやけど、何か今になって、その学校に行きたくてたまりません。その学校は徳島商業なんやけど、その学校に何かごっつい行きたくなってきたので、とにかく後、2ヶ月ぐらいしかないけど、徳島商業に行けるぐらいの点数を頑張ってみようと思う。本当はあきらめとったけど、あきらめたらやっぱり行けるところもいけんようになると思うので、頑張れるだけ頑張ってみようと思います。そして、絶対に徳島商業へ行こうと思います。

T₂₂:本当に頑張ろうな。「全員の力で高校全入を思いをもって仲間にも迫れる集団」。ほんまに頑張ろうな。みんながこれから過ごす休み時間の過ごし方も違って来るし、土曜日や日曜日の過ごし方やって違って来るはずですよ。みんなでも本当に頑張っていこう。ほとんどの人が今揺れていると思います。無事合格できるのか、合格できないのかというところで揺れている人、自分自身を信じて精一杯に頑張っていこう。「先生、僕はこんなに頑張っているんだ」って言える自分。友だちに「私、これだけ頑張った」って言い合える頑張り。そんなひたむきな頑張りをしていこう。

S(女)高校というのは、いけると思ったら本当にいけるようになるし、溜息ついたら一つ幸せが逃げていくと思って、しっかりと自分を信じて、いける人はトップで入るぐらいの勉強をして、厳しい人は必ず合格できる点数まで勉強してみんなで高校に合格したいと思います。みんな、頑張りましょう。

T₂₃:そういう雰囲気をつくっていこう。朝遅れるな。8時にはみんなこの教室に集まろう。授業のチャイムが鳴ったら、みんなですぐ勉強を始めよう。休み時間もみんなで大切にしていこう。人間は本当に頑張っていかなければ変わっていかない。お互いの存在を認め合って大切にしよう。わからないことは聞き合うことができ、教え合うことのできる関係で頑張っていこう。そして、みんなの求める道をしっかりと歩いていく努力をみんなで続けよう。